



第42回国際キワニス日本地区年次総会熊本大会 2018.9.6-7

看板プロジェクトコンテスト

東京キワニスクラブ「子ども食堂プロジェクト」が金賞受賞

去る9月7日から熊本市内のANA ホテルにおいて国際キワニス日本地区の大会が開催されました。小生も参加させていただいたのでその御報告をいたします。

まず驚いたのはわずか2年半で見事に復興を遂げた熊本県民の皆さんのご努力でした。もちろんまだ熊本のシンボルである熊本城は工事中ですが、仙台から来られたキワニアンのお一人が市内はほとんど震災の跡が残っていないと感心されるほどに復興は着実に進んでおりました。熊本が今後も着実に復興が進むよう心から応援させていただきたいと思いました。

また今回の大会では東京クラブにも大きな喜びがありました。それは、第2回看板プロジェクトコンテストにおいて当クラブの「子ども食堂プロジェクト」が見事金賞の栄冠を勝ち取ったことです。今後もこのプ

ロジェクトを大きく育てていく必要があると感じた次第です。

(副会長 日本地区奉仕委員長 磯田壮一郎)



佐藤嘉昭ガバナー（左）から金賞の盾を授与されました。



子ども食堂in妙法寺2018年夏 2018.8.2

2018年「夏の子ども食堂」が、8月2日(木)に「堀之内妙法寺」で開催されました。猛暑の中、340名の子ども達、ご家族に参加いただきました。

12時の受付開始前から長い行列、受付を済ませると食堂へ。食堂では美味しいカレー、サラダ、ゼリー、カステラまんじゅうが振舞われ、皆、大喜びでした。

大勢の人々の整理は大変です。毎回工夫し、今回はお寺の本堂を開放していただき、幾分涼しく順番を待つことが出来ました。

40名を超える学生、地域のボランティア。キワニス関連は25名。妙法寺、ボランティアの学生、地域の方々、キワニス会員が一体となつての運営は回数を重ねる毎に連携もスムーズになり、特に中学生ボランティアの素早い動きと人を引き付ける話術はすばらしいものでした。

イベントはバルーンアート、プラバン、缶バッジ、折り紙、団扇作り、お手玉と盛りだくさんです。恒例のイベントで大好きなお絵描きに子ども達は夢中、大人も一緒になっての参加です。子ども達は勿論、大人も終了時間を忘れて楽しんでいたのが印象的でした。

(事業企画委員会副委員長 雲類 鷲 孝)



夏休みの寺子屋in妙法寺 2018.7.23-25

「夏休み寺子屋 in 妙法寺」は学校の夏休みが開始した7/23(月)、24(火)、25(水)の3日間に開催されました。「比較的涼しい午前中に勉強する。」「夏休みの宿題を早めに片付ける。」という規則正しい生活リズムで夏休みを過ごすようにとの思いからです。

通常は多くとも25名ほどの子供達ですが、今回は連日、60名を超える児童が参加。当期間は大学では試験、講義があり、学生ボランティアの方々が参加できず、地域の方々、キワニス関係者も平日のため、参加者が少なく、大忙しの毎日でした。

子ども達の勉強は夏休みの宿題、通信講座のテキスト

ト、市販のドリルと様々。答え合わせを要求する子どもも。何人かのお母さんが子どもたちの中に入って面倒を見ていただきました。熱中症にならないように十分な水分補給は重要です。子ども達は何種類かのジュースを混ぜて楽しんでいました。

昼食は子ども達の楽しみの一つ。「焼きそば」「そめん流し」「バーベキュー」がメインメニューで、人気の「かき氷」を毎日提供、子ども達は大喜び。

大変忙しい夏休みの寺子屋でしたが、楽しい夏休みを過ごして、成長した子ども達に、9/1(土)の寺子屋で会えることが楽しみです。

(事業企画委員会副委員長 雲類 鷹 孝)



てらこや

「寺子屋」

in

みょうほうじ

妙法寺

お寺に
学習スペース
できました。



…今後の予定…

9月1日(土) 22日(土) 29日(土)
10月6日(土) 27日(土)



対象：小学生 時間：9時～12時半
内容：宿題・ドリル・読書等自由に漢字検定コースを併設
場所：廟之内「妙法寺」
その他：無料
飲み物・昼食付

「昼食は何が出るか
お楽しみに♪」

主催 妙法寺子ども食堂実行委員会 一般社団法人東京キワニスクラブ
申込み：妙法寺・事務所（山門を入れて右手の建物） お問い合わせ：03-3313-6241 望月、藤原
各児童館（松ノ木・堀ノ内東・堀ノ内南）にも申込み受付箱が置いてあります

てらこや

「寺子屋」

in

みょうほうじ

妙法寺

お寺に
学習スペース
できました。



…今後の予定…

11月10日(土) 24日(土)
12月1日(土) 15日(土)

演奏会 12月1日(土)13時～14時半
「津軽三味線と日本の唄」（無料）



対象：小学生 時間：9時～12時半
内容：宿題・ドリル・読書等自由に漢字検定コースを併設
場所：廟之内「妙法寺」
その他：無料
飲み物・昼食付

「昼食は何が出るか
お楽しみに♪」

主催 妙法寺子ども食堂実行委員会 一般社団法人東京キワニスクラブ
申込み：妙法寺・事務所（山門を入れて右手の建物） お問い合わせ：03-3313-6241 望月、藤原
各児童館（松ノ木・堀ノ内東・堀ノ内南）にも申込み受付箱が置いてあります

キワニスドール・フェスティバル開催 2018.7.21

今年は7月21日(土)13:30～17:30に開催され、大変盛況でした。

以前は別々に開催していた「キワニスドール・シンポジウム」と「ドール作り」を同日に併せて行うかたちに変更し、今回で3回目になります。年々参加者が増えて、今回は138名もの大勢の方々(2年前は90名)が、猛暑のさなか集まりました。

キワニスの東京、埼玉、千代田、福井、沖縄各クラブの会員と家族のほか、JUNKO ASHOCIATION やサークルK 武蔵野大学の学生、企業・学校など外部奉仕団体の皆様が大勢参加。会場は、協賛の(株)パソナグループ・本社会議室をお借りし、また同じく協賛のサッポロホールディングス(株)からは参加者への飲み物を提供して頂きました。

最初に、増田好平会長の挨拶があり、続いて、病院でドールを活用しているの方々から、ドールと子どもたちとの関わりやエピソードの報告がありました。初めに、亀田総合病院の看護師の鈴木萌水様と須金舞子様から、続いて聖路加国際病院のチャイルド・ライフ・スペシャリスト(CLS)、三浦絵莉子様から、それぞれ映像を紹介しながら興味深い事例が紹介され、熱心な質疑応答もありました。

報告の中で印象的だったのは、三浦様が米国に留学し取得したCLSという、病気の子どもの心理的なケアの専門家の資格(認定試験あり)を擁する病院が米国



に多いのに対し、日本にはごく少数にとどまり、活用されていないとの話や、亀田総合病院では、ドールが登場する紙芝居を子ども達に見せてからドールを渡すと、子どもはドールにすぐに親しんで抱き抱え、手術への恐れも大きく和らいでいる、等々。興味深い話が続き、参加者も熱心にメモを取っていました。

ドールづくりに先立って、武蔵野大学のサークルK「CONNECT」が作成したドールづくりの手順解説のビデオ放映があり、ドールづくりに役立ったようです。

会の終わりには、交流会が立食パーティーのかたちで行われ、参加者の意見交換や親睦の場となりました。ドール作りの時間を設けたことと相俟って、参加者が受け身でなく積極的に参加意識を持てる会合になったと思われ、盛況の大きな要因だったように思われます。

今後ともこのフェスティバルが続き、キワニスドールがより広がりを見せ、有効に活用されていくことを期待致します。

(ボランティア活動委員 重成 侃)





社会公益賞 贈呈式 2018.9.14

今年の社会公益賞は、多数の応募団体の中から「子ども村中高生ホットステーション」「ハイリハキッズ 高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会」の2団体に決定しました。9月14日(金)には法曹会館で授賞式を開催し、各団体の代表者に表彰状と副賞の金一封が、増田好平会長より手渡されました。各代表の受賞スピーチの全文を、ホームページに掲載予定です。是非、そちらもご覧いただきますようお願い致します。

なお、人知れず社会のため、人のため活動している2つの団体をこの度社会公益賞授賞団体として取上げた理由、環境は以下のとおりです。

(社会公益委員長 都甲洋史)

・ハイリハキッズ

高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会

代表 中村千穂氏

事故、病気による脳機能障害のため、昨日まで普通の生活、振舞ができていた幼児が、突然何の記憶もなくなり、表情も能面のように冷たいままで笑顔がすっかり消えている。長男が3歳の時O157食中毒が原因で医者にかかっても手の施しようがない絶望に襲われた代表の体験は、何を親してすればよいのか、同じ悩みを持つ親たちの相談相手、心のよりどころとして信頼されている。全国に約5万人いる高次脳機能障害の子どもを持つ親の相談相手として行政、医療分野との協働により活動している。



・子ども村：中高生ホットステーション

代表 大村みさ子氏

これまで食の提供、学習支援、生活支援等子ども食堂が各地で活動しているが、居場所の提供にとどまることなく寄り添って共に歩む、を目指して活動している点に注目。さらには、区社協を巻き込んで支援を必要とする中高生の子供達に関する情報交換を行うネットワークを設立し上手く運営している。何にもまして、当の子供達が活動の主旨を素直に理解し地元の主婦とも心を通わせる場が実現していることに感動。



第34回青少年教育賞表彰式・交流会

2018.9.22

第34回青少年教育賞表彰式・交流会をパソナグループJOB HUB SQUARE(パソナグループはキワニスのサテライトパートナーです)において9月22日に開催しました。

今回は受賞団体4団体に加え、“キワニスニュースフォーラム”加入団体11団体、東京キワニスのスポンサークラブ“サークルK”(武蔵野大学CONNECT)1団体を加え、いずれも学生を中心としたエネルギー溢れる16団体が集結しました。各団体からは日頃の活動成果の発表を行い、交流会では、各団体が自由に意見交換出来る時間を設定しました。土曜日の午後半日でした

が、学生の皆さんの様々なアイデアや意見が飛び交い、また各団体の活動への思いが伝わってきました。ボランティアに参加する多くの団体や学生の方が様々な場面で融合してボランティア活動の質を高めていく機会の一つになることを願っております。

<最優秀賞> 筑波大学

社会福祉研究会 窓愛園グループ

<優秀賞> 蒲田女子高等学校 生徒会& JRC部
MECP(Music Explorer Concert Project)

事務局

<優秀特別賞> 明治大学 心身障害者福祉会 しいの実

本年の参加団体

1. 青少年教育賞受賞団体

○筑波大学 社会福祉研究会 窓愛園グループ

児童養護施設におけるマンツーマンの担当制による学習サポートを通じた自立支援を図る活動。

○蒲田女子高等学校 生徒会& JRC部

多岐に亘る社会福祉に貢献するグローバルなボランティア活動を目指した幅広い奉仕活動。

○MECP (Music Explorer Concert Project) 事務局

演奏会を主催した収益により、音楽を通じた社会課題の解決を目指す活動。

○明治大学 心身障害者福祉会 しいの実

50年以上の歴史を持ち障がい者施設や児童館を拠点にチーム編成した7つの活動。

2. キワニスユースフォーラム加入団体

○JUNKO アソシエーション、○慶應大学 S F C サイバー防犯ボランティア、○国際基督教大学劇団虹、○日本教育再興連盟 (ROJE)、○国際ボランティア学生協会 (IVUSA)、○多摩大学村山貞幸ゼミ日本大好きプロジェクト、○S T P Cambodia (上智大学)、○僕らの夏休み Project 実行委員会、○かものはしプロジェクト、○MAKE SMILE (神田外語大学)、○ガールスカウト群馬県連盟

3. キワニスサークルK

○武蔵野大学CONNECT

尚、今回ユースフォーラムに参加されている国際ボランティア学生協会 I V U S A から子ども向け減災学習サイト「減災アクション」のご紹介がありました。災害の多い昨今有益な取り組みではないかと思えます。

(青少年教育委員長 木本 健)



第83回 国際懇話会 2018.6.25(法曹会館)

今回は、徐静波（株）アジア通信社代表取締役社長様を迎えての会でした。

徐様は、21年にわたり、中国共産党全国代表大会と全国人民代表大会の取材を認められた唯一の在日中国ジャーナリストであり、今年3月の全国政治協商会議の特別招聘代表として全人代会議に参加されています。

参加者は会員28人で、最近の国際情勢の中で中国に対する関心の高さが伝わってきました。演題は「習近平長期政権の重要な課題」で、話題は三点でした。

まず習近平政権が大統領制に向かっているのはいかとのこと。集団指導体制だが、習近平主席、王岐山国家副主席、李克強首相の三人による相談が鍵で、特に国家副主席の役割が従来になく実質的に重要になったことなどわかりやすい解説でした。

第二が中米貿易戦争の真実として、習政権が目指す中国の夢、それを憂慮する米国。貿易問題の本質にある巨額のドル外貨準備による金融戦争の側面。中国の我慢の背景にある台湾問題など興味深く考えさせられる問題提示でした。

最後に朝鮮半島の主導権の争奪。中国は北朝鮮を非核化したいし、中華圏に取り込みたいが、東南アジアのシンガポールのようにしたい米国との間でのせめぎあい。いずれにせよ北東アジアの経済振興を狙う中国。



日本の資金面での役割などまさに今動いている課題を考える示唆を与えていただきました。

この他一帯一路の見方などもあり、参加者からは多くの多岐にわたる質問が出て、有益な対話ができたとおもいます。

徐静波様に、感謝いたします。

引き続き国際懇話会は皆様の協力で、数か月に一度、関心あるテーマについて開催し、対話を続けます。東京キワニス及び他のキワニス会員の参加を期待しております。

(国際委員長 中井 毅)

奨学金授与者と会食 2018.8.17

「キワニス子ども基金 (KCF)」からの報奨金を基にした奨学金が5人の大学生等に支給されることになりました。



そのうちの1人、東京キワニス推薦の東北大学経済学部1年・岡安優樹さんが、夏休みを利用して8月17日にお礼のために上京されました。その際、都内のレストランで昼食会を催し、岡安さんと、仲介していただいた「豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク」理事長の栗林知絵子さんをお招きしました。

岡安さんは、明るい女子学生で、勉学はもとより、同大学のアメリカンフットボールのマネージャーを務めるなど、早くも学生生活をおう歌しているようでした。

奨学金を有効に活用し、将来の夢を実現するよう頑張ってくださいと思います。

(日本地区事務総長 伊藤一實)

ラスベガス大会 2018.6.28-30

気温45℃の街、ラスベガス

ラスベガス到着直後に乗ったタクシーの運転手から、明日は気温が45℃になると教えられビックリ。なるほど砂漠の中にできた都市なので「そうか」と思ったのですが、イザ日中外へ出てみるとそれほどの熱気を感じないのです。やはり湿気の関係でしょうか。

そんな街、ラスベガスのバリーズホテルと隣接するパリスホテルで、6月28日から30日の間、第103回国際キワニス年次総会が開催されました。公式参加者数は、3,666人、日本地区からは遠隔の地ということもあって35人の参加でした。

29日午後6時半から開会式が行われ、会長のジム・ロッチフォード氏の挨拶など恒例の式典となりました。同日夜は、近くのホテルで日本地区夕食会が行われました。

総会では、規約の改正などの審議が行われた外、次期副会長の選挙などが行われました。

会期中、いくつかのワークショップが行われました



が、日本地区からは北里国際理事が「Kコア」について、吉田日本地区次期ガバナーが「キワニスドール」について、それぞれスピーチを行い、いずれも40人を超える参加者があり、関心の高さが窺われました。

30日午後1時半から閉会式、同7時半から夕食会が行われ、3日間にわたる年次総会の幕を閉じました。

(日本地区事務総長 伊藤一實)

キワニスドール無料配布(第22回 日本医療保育学会) 2018.6.24

病弱教育の第一人者、横田雅史教授(帝京平成大学)から、全国の保育士300人が集まる学会でキワニスドールを配布してはとご提案下さいました。以前手掛けたドラマで院内学級の監修をさせていただいたご縁です。

6/24「日本医療保育学会」(同大学・池袋キャンパス)。ボランティア活動委員会の中村禎良会員を中心にドール100体無料配布を開始。「初めて本物を見ました」、「10年前に手に入れて、新しいものがほしかった」、「ドールフェスに参加したい」など大好評。実は前日にドールについて学術報告があり、興味を持った方も多いそうです。おかげで午前中には配布終了。ドールづくりコーナーも学生たちに人気でした。

後日(8/31)、横田先生には卓話で「病気の子どもの教育～今、私たちにできること～」と題しお話を

いただきました。先生曰く、教育や福祉はCureできなくてもCareができる、と。キワニスの活動の重要性を再認識した次第です。

(広報委員長 内丸摂子)



北関東初、宇都宮クラブ誕生 2018.9.17

北関東で初のキワニスクラブが宇都宮に誕生した。これで全国 36 クラブとなる。

「宇都宮キワニスクラブ」は 17 日、宇都宮グランドホテルで設立総会を開いた。30 名を超えるチャーターメンバー（創設会員）が結集、初代会長に栃木県公安委員長でフリーアナウンサーの白井佳子氏を選出した。

集まった会員には女性や、医療・看護関係者が多く、まずキワニス・ドールづくりに積極的に取り組む方針。白井会長は「キワニス・ドールを船のマストのようにしっかり立て、皆さんの風を帆いっぱいを受けて船出したい」と力強く抱負を語った。

この日の総会には日本地区の佐藤ガバナー、国際キワニスの北里国際

理事らも駆けつけ、これまで空白だった北関東でのクラブ誕生を共に喜んだ。また会員のほか、ドールづくりなどに協力するサポーターも参加し、東京クラブの星会員によるドールづくりの説明に耳を傾けていた。

宇都宮クラブは、東京クラブが親クラブとなり、昨年秋から設立準備を進めてきた。ただちに国際本部に申請、正式に認証が得られるのを待って、11 月 17 日

（土）にチャーター・ナイト（認証状授与式）を開催する予定。（クラブ新設委員長 鈴木健司）



星会員からドールの指導



チャーターメンバーが勢揃い



佐藤ガバナーから白井会長へバナーが贈られる

事務局便り

入会者

●黒江哲郎様

入会日 2018 年 7 月 6 日
勤務先 三井住友海上火災保険
職歴 昭和 56 年 4 月 防衛庁入庁
平成 29 年 7 月 防衛事務次官退官
平成 29 年 10 月 内閣官房国家安全保障局 国家安全保障参与
平成 30 年 1 月 三井住友海上火災保険(株)顧問

趣味 散歩 読書

推薦者 伊藤康成会員 増田好平会員

※ボランティア活動委員会に所属されました。



●吉村輝寿様

入会日 2018 年 10 月 5 日
勤務先 セコム株式会社
職歴 昭和 52 年 三菱銀行入行
平成 19 年 セコム株式会社入社
趣味 落語、旅行、スポーツ観戦、ゴルフ
推薦者 佐々木信行会員、鈴木祐二会員



物故会員

●廣瀬駒雄様

入会日 1991 年 8 月 30 日
2018 年 7 月 22 日にご逝去されました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

■ 2018 年 9 月 30 日現在
会員総数 179 名

これからの活動

2018年6月～2018年9月までの活動

	例会理事会等	イベント	子ども食堂・寺子屋	ドールを作る会
6月	1 例会2283 理事会⑨ 15 例会2284 29 例会2285 28-30 KI年次総会ラスベガス大会	14 なぎさ会 15 カメラ部会 21 新入会員オリエンテーション 25 国際懇話会 26 囲碁愛好会 28 宝塚観劇会	2 寺子屋 16 寺子屋	14 ウエルズファーゴ 19 キワニスドール手直し会 23 金平糖 24 日本医療保育学会 29 東京医療学院大学
7月	3 火曜会お休み 6 例会2286 理事会⑩ 20 例会2287 20 東京ディビジョン会議	5 護衛艦いずも見学ツアー 12 なぎさ会 24 囲碁愛好会	14 寺子屋 23 寺子屋 24 寺子屋 25 寺子屋	12 JPモルガン 17 キワニスドール手直し会 21 ドールフェスティバル
8月	3 例会2288 理事会⑪ 13・14・15 事務局夏休み 14 火曜会お休み 17 例会お休み 31 例会2289	23 宝塚観劇会 28 囲碁愛好会	2 妙法寺子ども食堂	
9月	4 理事会⑫ 6-7 日本地区年次総会熊本 14 例会2290(卓話無) 21 臨時総会2291	8.9 文案 9-23 大相撲秋場所 13 なぎさ会 14 社会公益賞贈呈式 15・16 文案 21 カメラ部会 22 青少年教育賞表彰式・交流会 25 囲碁愛好会 27 宝塚観劇会	1 寺子屋 22 寺子屋 29 寺子屋	13 ギャップジャパン

2018年10月～今後の予定

2018年10月9日現在

	例会理事会等	イベント	子ども食堂・寺子屋	ドールを作る会
10月	5 例会2292 理事会⑬ 19 例会2293	6 スピカコンサート 11 なぎさ会 18 ワイン会 19 靖国神社秋季例大祭 23 囲碁愛好会 25 宝塚観劇会 26 日本橋めぐり	6 寺小屋 27 寺子屋	6 荏原看護専門学校学校祭 16 エドワーズライフサイエンス 20 田園調布学園土曜プログラム(キワニスワンデー) 27 慈恵会医科大学看護学科学生祭 29 LIXIL
11月	2 例会2294 理事会⑭ 16 例会2295 30 定時総会2296 臨時理事会	7 秋季チャリティーゴルフ大会 8 なぎさ会 15 国際懇話会 16 撮影会 27 囲碁愛好会	10 寺子屋 24 寺子屋	1 東京家政学院大学 12 アストラゼネガ 13 エドワーズライフサイエンス 17 田園調布学園土曜プログラム 22 明治薬科大学 29 武蔵野女子学院高等学校
12月	7 例会2297 理事会⑮ 21 例会2298	8 文案 13 宝塚観劇会 13 なぎさ会 15 文案 15 囲碁大会 21 カメラ部会 28 第九を聴く会	1 寺子屋(津軽三味線と日本の唄) 15 寺子屋	
1月	11 新年互例会2299 15 理事会⑯ 15 火曜会スタート 18 例会2300	13-27 大相撲初場所 14 新春大歌舞伎 31 宝塚観劇会		

編集後記

活動レポートやHPの写真の多くは、レクリエーション委員会のカメラ部が撮影協力してくれています。イベントで毎回撮影するのも大変ですが、撮影後に大量の写真を選別し、画像処理をし、事務局にデータを渡す作業も意外と骨が折れるもの。そんなカメラ部に感謝して、前号より「東京キワニス写真館」コーナーを設けました。しかし、今号はページ数調整のため掲載を断念しました。近々、HPの「会員専用ページ」に掲載予定です。是非そちらをご覧くださいませ。

(広報委員長 内丸摂子)

東京クラブの活動

● キワニスドール

身長約40cmで体重約50g、とても素朴な形で、目も鼻も口もありません。ただ一つ身に付けているのは、キワニスマークの小さなラベルだけです。

しかし、このちょっと風変わりな、ノッペラボウの小さな人形が普通の玩具の人形とは違った方法で、全世界の病気の子どもたちに大きな力を与えています。キワニスドールは、病気の子もたちと仲良しになり、見守ることが使命です。

白い木綿生地にポリエステル綿を詰めただけのキワニスドール。ノッペラボウなのは、使う人が顔を描いたり洋服を描いたりすることができるようにしているためです。また、お医者さんや看護師さんが、治療の説明のために、人形に絵を描くこともできます。さまざまに描かれた人形は、病気のその子だけの人形になります。

キワニスドールは、メルボルンのナナワディング・キワニスクラブで、1988年に初めて作られました。メルボルンからオーストラリア全域で広がり、さらに1994年に北欧にも伝播しました。日本地区では2001年11月から取り組み始めました。現在では全世界のキワニスクラブでドールを制作して病院などに寄贈するという活動を行っております。

2009年から毎年、キワニスドールの利用事例などについての情報共有をはかり、作る側と利用する側双方の課題を議論し合う場として、キワニスドール・シンポジウム2016年からはキワニスドール・フェスティバルを開催しています。

キワニスドール (Kiwaniis Doll) を平成18年7月14日に、商標登録し、平成28年4月19日に更新いたしました。

● キワニス子ども食堂

ひとりっ子・共働き・シングルマザー・ファザー等から「孤食」が増加する中で、世代を超えて楽しく語り合いながら、「美味しく」食べる機会の提供として、「キワニス子ども食堂」を学生会館精養軒等とともに開催しています。また、その進化系として、「キワニスカんたん子ども料理教室」をとしまえんの協力を得て開催しています。

● キワニス奨学金 (児童養護施設卒園進学者支援制度)

児童養護施設から大学・短大・専修学校への進学者向けに年間40万円 (最長4年間) の奨学金 (生活サポート) 制度を2016年にスタートさせました。現在は2名の学生を支援しています。奨学金は会員からの寄付で賄っています。

● 表彰

キワニス「社会公益賞」 社会公益のために長年献身的に取り組んでいる団体を表彰しています。

東京キワニスクラブ「青少年教育賞」 国際的な活動を含め奉仕活動に積極的に取り組んでいる青少年団体を表彰しています。

キワニス「奉仕賞」 キワニスクラブの奉仕活動に協力する団体、学生サークルを表彰しています。

● SLP (学生・生徒版キワニスクラブ) 活動

高校生のクラブ、座間アメリカンハイスクール・キークラブと大学生のクラブ、サークルK武蔵野大学、若者による既存のサークル活動を支援するキワニス・ユースフォーラムがあり、若者のボランティア活動を支援しています。

キワニスクラブとは

キワニスクラブは、“世界の子どものために”を合言葉に奉仕活動を行う民間の世界的な団体です。1990年からは、特に幼い子どものための奉仕活動に力を入れています。名称のキワニスは、デトロイト周辺に住んでいたアメリカ先住民の言葉“Nun-Kee-Wanis” (みんな一緒に集まる) に由来します。

キワニスクラブは、1915年1月21日米国デトロイト市で生まれました。当初はアメリカとカナダで発展していましたが、1963年にはヨーロッパ3都市に広がり、現在世界の約82ヶ国、約7,000のクラブ、約19万人の会員が国際キワニスを構成し、その本部は米国インディアナポリスにあります。

日本では、東京キワニスクラブが1964年1月24日、アジア太平洋地域で最初のクラブとして設立されました。次いで名古屋、大阪、広島、神戸、仙台、札幌、横浜、高松、福岡、京都、千葉、和歌山、新潟、泉州、埼玉、西宮、熊本、静岡、金沢、松江、鹿児島、芦屋、福島、大分、千代田、長崎、宮崎、佐賀、秋田、大垣、福井、沖縄、徳島、青森、宇都宮の順に生まれ、現在36のクラブで会員は約2,000名で活動しています。東京キワニスクラブは、1967年2月27日社会奉仕団体として初めて、厚生大臣より社団法人の認可を受けました。2012年10月1日に一般社団法人に移行しました。

一般社団法人 東京キワニスクラブ 会長 増田好平 〒101-0047 千代田区内神田2-3-2 米山ビル7階

Tel: 03-5256-4567 Fax: 03-5256-0080 e-mail: tokyokiwanis@japankiwanis.or.jp URL: <http://www.japankiwanis.or.jp/tokyo>